

# 台東新聞

発 行 編 教	行 委 集 宣	責 任 員 責 宣	任 長 任 部
東 労 台	京 働 東	清 組 支	掃 合 部

2014年6月30日  
第23号

## 第十一回台東支部定期大会開催！

《2014.6.14 清川分室会議室》



### 定期大会 特別号

第十一回支部定期大会が代議員制で開かれました。支部結成以来十年間に亘り支部をけん引してきた江森委員長から横須賀新委員長にバトンタッチ、青年部も須藤新部長を先頭に新たな体制でスタートをきりました。



桐田書記次長

来賓の桐田書記次長からは「質の高い公共事業サービスとしての清掃事業との観点から車付雇上の導入（委託）に対する問題点を指摘。我

々の職場に於いて清掃の仕事にどう付加価値を付けていくか。台東支部は、直営にできる住民サービスは何か？という事で、組合が提案をしながら戸別収集を進め直営の仕事・職場を守る、こういった運動を展開しながら現在に至っている。組合が積極的に自分達の仕事を守るのだという立場に立つて運動を展開していく事が大事である。我々として出来るのは、直営でなければ出来ない仕事は何かとしつかり提起し、組合員一人ひとりの意識をそこに集中していく事が大事である」と強調。

また、車付雇上が進むことにより日雇いの作業員が増え、工場を知らない運

手や清掃作業をした事の無い人が派遣で来るなど、仕事に対する知識や能力に欠け安い賃金で働かされている現状が清掃事業の劣化を招いていると指摘。更に現業系公務員の賃下げ問題に対する言及がありました。



金子議長

第二地連の金子議長からは「台東区が取り組んでいる戸別収集事業が、第二地連の方針で掲げる区民密着型の清掃事業の展開が、正にそれである」と激励があった。

最後に大会スローガンを確認、横須賀委員長を中心に団結ガンパローで無事大会を終了しました。

# 「新委員長挨拶」

## 横須賀 博

今定期大会より執行委員長に選任されました横須賀です。

都区制度改革により清掃事業が区に移管され15年目になります。区移管以降、浅草・下谷両支部を統合し台東支部を結成して既に10年が経過しました。この間、各区の清掃事業は合理化攻撃により資源・粗大のほぼ全てが委託されました。さらに車付雇上にみられる収集現場の委託化が進み様々な問題が露わになってきました。この様な状況の中、台東支部として今後の清掃事業を見据え直営の堅持・優位性を示す立場から可燃・不燃の戸別収集に踏み切りました。現業職員の退職不補充方針は依然としてありますが、必要人員確保を当局に求め新規採用を勝ち取ってききました。



また賃金確定闘争に於いては、現業労働者にとって厳しい賃金引き下げが行われていきます。労働条件の向上は、全組合員の団結で勝ち取っていかねばなりません。我々を取り巻く情勢は大変厳しいものですが、退職まで安心して働き続けられる職場を作るため、団結しともに頑張りましょう。

# 「前委員長挨拶」

## 江森 正二

台東支部結成以来、10年に亘って組合員皆様のご協力のお蔭で、大過なく執行委員長の任を務めさせていただきました。有難うございました。

今後は横須賀新執行委員長の下、組織強化を図り頑張って参る所存ですので、宜しくお願い致します

### 「支部役員体制」

執行委員長

横須賀 博

副執行委員長

江森 正二

染谷 智之

橘 均

植村 純

原田 輝高

長峰 顕史

磯辺 清二

鈴木 亨

金子 岳人

片岡 良亮

鈴木 信生

宇佐美浩一

黒河内 昭

片野 篤

会計監査  
田村 明年

### 「青年部」

部長 須藤 克親

副部長 中尾 知央

書記長 瀧澤 幸広

書記次長 松井 順平

会 計 山下 一弥

会 計 藤田 周平

「担当中央執行委員」

黒河内 昭

「第二地連役員」

事務局長 原田 輝高

会 計 植村 純

常任委員 磯辺 清二

(現業部)

片岡 良亮

(教宣部)

宇佐美浩一

(組織部)

# あしあと

〜東京七不思議〜

その2

蔵前に浅草中学、北上野に駒形中学があったり、東上野に下谷神社があったり、名称と所在地が一致してなく、子供の頃から不思議だと思っていた。

東京が35区から23区になった時、浅草区と下谷区が合併し台東区が発足しました。以前は旧住所表示では浅草〇〇町や下谷〇〇町と言っていたその名残でしょうか。

また、警察も下谷警察署が下谷北警察署、上野警察署が下谷南警察署と呼ばれていました。

もう一つ不思議なのは下谷神社の鳥居が北向きに立っている事です。普通神社の鳥居は北向きには立てないもの。何故だか気になる人はインターネットで調べてみてはいかがでしょうか？

(Aモリ)